


あけまして おめでとうございます

情報技術と社会制度がもたらす変化は、わりに見えやすいものです。ですが技術や制度が一新されても、他者と学びあう知、異質なものを媒介する知、社会や自然や機械と共に生き、共によりよい関係をつくる知が顕在化するとは限りません。ここで必要とされるのが物語です。人類の堂々めぐりを打ち破る「新しい思考」を形づくる物語が現れたときこそ、時代が本当に衣替えするときだと考えています。仲間たちと共に、のみならず、違う視点をもたらししてくれる、若い世代や女性たちや外国人たちと共に、明日を支える物語を再生し、つくりだすことが、今後の仕事です。

日ごろのご厚情に御礼申し上げますとともに、ますますのご多幸を心よりお祈り申し上げます。

平成 29 年 1 月 吉日 

設樂剛事務所・代表
慶應義塾大学 SFC 研究所・上席所員
設 樂 剛 (博士)

